

9/30 木

マイナ保険証

窓口負担表示ミス56件

事務処理ミスなど原因

厚生労働省は29日、マイナンバーカードに健康保険証機能を持たせた「マイナ保険証」で医療機関を受診した際、医療費の窓口負担割合が誤って表示された事例が56の5件以上ったと明らかにした。公的医療保険の運営団体の事務処理ミスなどが原因としている。

誤表示の事務処理ミス

は、保険証の発効期日を間違って設定したなどのケースがあった。対策として、運営団体に正しい手順を徹底させた上で、2023年度中にシステムを原則として改修。24年夏までに、運営団体の情報と、システムで表示される内容に誤りがないかどうか点検する仕組みを導入する方針だ。

医療機関などの保険診療のうち、8月に患者がマイナ保険証を利用した割合は、4・7%だったことも公表した。利用率の低下は4カ月連続。

政府は4月、医療機関や薬局に保険証の番号やマイナンバーカードのICチップを用いて、オンラインで、全国の医療機関と薬局の86・3%が実施。マイナ保険証の利用率は、4月が前月比4・8%増の6・3%だった。その後、5月は6・0%、6月は5・6%、7月は5・0%に低下した。8月のオンライン確認の件数は約1億5732万件で、マイナ保険証の利用は4・7%に当たる約734万件だった。